

小泉八雲と防災

～日本初の防災教材『稲むらの火』原作者～

焼津市ゆかりの小泉八雲(ラファエル・ヘーン,1850～1904)は、1854(嘉永7)年の安政南海地震の大津波の際に濱口梧陵が行った人命救助の話をもとに描いた『稲むらの火(原題:A Living God)』の作者としても知られ、この本で英単語の”tsunami(津波)”を初めて欧米に紹介した人物である。

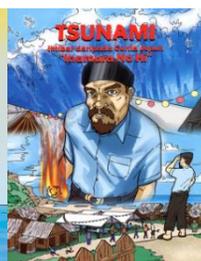
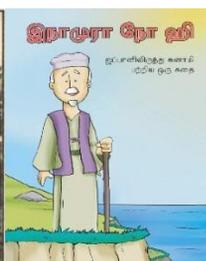
原作の「A Living God」(生き神様)を元にした「稲むらの火」にちなみ、平成23年11月5日が「津波防災の日」に制定されました。

9月1日は「防災の日」です。1927年9月1日に発生した関東大震災にちなみ、制定されました。一年の中でも災害が起こりやすい時期である9月は「防災月間」とされています。

今回の展示会は、八雲と防災をテーマとして、防災を身近に考えていただく機会を提供させていただきたく企画しました。

子どもたちはもちろんのこと、幅広い世代のみなさまのご来場をお待ちしています。

(注)*1854年(安政元年)安政南海地震による津波が和歌山県を襲った際の濱口梧陵(儀兵衛)が稲むらに火をつけて、村人を安全な場所に誘導したという実話をもとにした逸話



小泉八雲(1850～1904) 『稲むらの火』 戦前版教科書 (主人公が稲むらに火を放つ場面)

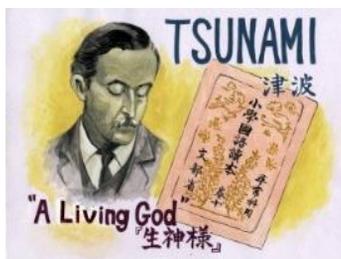
インド版

マレーシア版

フィリピン版

インドネシア版

アジア8か国津波防災絵本『稲むらの火』



関東大震災を伝える写真集、紙芝居

紙芝居「TSUNAMI」

八雲のちりめん本

日時:令和7年9月2日(火)～9月28日(日) ※休館日(月曜日)を除く

午前9時30分から午後8時(土・日祝日は午後5時30分閉館)

場所:藤枝市立駅南図書館(藤枝市前島1-7-10 BiVi藤枝3階) 電話:054-636-4800

◎展示初日:午後1時30分～ 企画担当 静岡福祉大学附属図書館図書課長 在席

企画展示内容:

- ①『稲むらの火』(原作『生き神様』)等の日本の防災教材の歩み
- ②アジア津波防災教材『稲むらの火』8か国+フランス語版+日本語版
- ③八雲と関東大震災、関東大震災を伝える写真集:高橋五山(昇太郎)、紙芝居
- ④紙芝居と「ちりめん本」で伝える八雲作品
- ⑤子ども向けの防災絵本、図書

共催 静岡福祉大学附属図書館(焼津市本中根549-1) 電話:054-623-7452

藤枝市立駅南図書館(藤枝市前島1-7-10 BiVi藤枝3階) 電話:054-636-4800

協力 小泉八雲顕彰会(焼津市)

焼津小泉八雲記念館(焼津市三ヶ名1550) 電話:054-620-0022